平成20年度

EXIG

し不認定 矢野市政のもと市組

不認定 明政クラブ 井

功

保育部門の定数削減も含め、さ 類似団体平均の3分の1であり、 均値になったと一定の評価はす らなる定数削減を求めた。今後 るが、狛江市の行政面積は他の 数及び人件費比率については平 団体と比較した場合、職員の定 行財政改革の進捗状況を類似

後から異物混入が多発し、現在 り込んだ。中学校給食は開始直 開始されたが大きな問題を引き 平成20年度は2つの新規事業が され早急に次の行財政改革プラ 増加により悪化することが予想 加の財政支出も余儀なくされた。 でもこの問題は解決されていな えず、乗客数は予想を大きく割 その使命は到底果たしたとは言 福祉バスからの移行としながら 起こした。コミュニティバスは の財政状況を考えると扶助費の これらの問題の原因は拙速に事 い。また喫食率の低下により追 ンを策定することを要望した。

業が開始されたことと、市組織 再開するべき。そして異物混入 究明を徹底調査し、委託事業者 かったのはまことに遺憾である の実態、資料を全部つけて、「異 中学校給食は一たん中止し原因 者へ迅速に正確に報告がされな 物混入はこういう実態ですが、 が信頼できると判断した段階で

を建設し運営については委託業

に給食センターのような調理場

到底納得のいくものではなく、

「中学校給食」については、

その対応に怒りすら覚える。これ

業も数多くあるが、「こまバス」

力し市民のために取り組んだ事

ンケートをとるべき。また市内 いですか」と生徒や保護者にア

者を選定していく公設民営の考

らを総合的に判断し不認定とす

現在の委託業者で継続してもよ

の慢心やおごりがあったのでは ないか、そのように指摘せざる も実施できた年度であった。し 長年の公約であった中学校給食 わなければ同じことが繰り返さ ることで、組織改革を早急に行 も行われず機能不全に陥ってい が組織の基本である報告や相談 かしそのような年度の中で市長 了したことで新規事業を開始し、 選を果たし、緊急行動計画も終 矢野市長にとって市長選挙で4 れると憂慮する。平成20年度は

守りながら財政基盤 を確立・強化

認定 日本共産党狛江市議団 辺 良

税の減額免除制度の拡充、都市 券の発行準備も進められ、市民 度が実施され、今日までに11 4件利用された。市内共通商品 料負担も実質ゼロの緊急融資制 不況の中、利子負担も信用保証 画税減税の継続も行われた。 アメリカ発の金融危機による

> 中学校給食がスタートし、新た 員増、狛江保育園での一時保育 また、長年の市民の念願だった なども進められた。 な保育所誘致や公立保育園の定

の方々から歓迎されている。 ティバスも運行され、たくさん ンにも拡大している。コミュニ 小の体育館耐震工事を実施して の実証実験を開始。五小・和泉 で「独居高齢者見守りシステム」 いる。耐震診断助成をマンショ さらに電力中央研究所と共同

私たちが取り組んだ聞き取り調 時中止を求める声もあったが、 一部野党から中学校給食の一

> り安全で豊かな給食へと充実で きるよう要望する。 めて安全対策に万全を期し、よ んでいる。今後とも抜本策を含 対策に取り組んでほしい」と望 査では、保護者の声の多くが 「中学校給食を続けながら安全

随所にあらわれている。

ないほうから12番目、財政運営 務省発表資料では多摩26市で少 も多摩26市の中位になっており のゆとり度を示す経常収支比率 かわる洗いざらいの借金も、総 10倍近くにふやし、狛江市にか 整基金を現在までに04年度の 評価できる。 財政基盤の確立でも、財政調

得られないお金(税金) の使い方に不認定

を得ないような市政運営であっ

民主党・行革の会

たと判断し不認定とする。

ある。また、多選による弊害が か答弁できなかった。無責任で づける予算が一体幾らになるの マニフェスト(ばらまき)を裏 があり、現職市長が4選を果た した。しかし現職市長が掲げた 平成20年度は6月に市長選挙 Œ 木 きよし

勤務をサボり再就職活動して 退職金を100%払った行為。 た職員に対して、そのことを知 ていながら何もしないで給料、 虚偽の病気休暇届を出し、

改善の指示は何もしない。危機 よる交付金の不正受給、長年に 管理能力なしの無責任な姿勢。 の告発で明るみに出た。市は ていたことが発見できず、会員 わたって不正受給が繰り返され 多摩川住宅イ号棟自治会に

中学校給食異物混入に対し

後の9月に指摘を受けて実施 (委員長外1名欠席) したが、

年度の予算執行には、職員が努 え方を検討するべきである。今 体何をしていたのか。過去の不 る。公明党はこの事業の今後の経 過や推移を厳しく鋭く監視する **| 問題の教訓が生かされていない。** 財政力指数も相変わらず悪い。

て教育委員会は現地視察を1年 成18年度に対して主なもの) 三多摩26市比較財政力指数(平 人口1人当たり歳出額

定とする。 以上述べ、抗議を込めて不認 地方債現在高 経常収支比率 積立金現在高 実質公債費比率 公債費比率 財政力指数3年平均18位□20位 標準財政規模 26 位↓ 24 位 26 位↓ 26 位 22 位↓ 23 位 26 □□ 25 位 24 位↓ 14 位 23 位↓ 24 位 26 □ □ 24 位。

を目指すか基本計画 どのような地域社会 に反映させよ

全化を進めてきた。一方国と地 狛江市は総務省主導の財政健 生活者ネットワーク 市 原 広 社民 子党

込むような改革も必要となる。 見ながら、人件費にさらに切り 借りてきた。今後は国の動向を る臨時財政対策債を目いっぱい 方の借金体質の象徴である地方 交付税の不足分を折半して借り

> 中の基本計画に反映させよ。 をつくっていくかを、現在策定 会、言いかえれば「新しい公共 そのためにはどのような地域社

努力を重ねていると一定の評価 生かして、支援が必要な人を置 るようになっていく。社協も障 をせず、小さな自治体の利点を ために多くの予算が必要とされ ていないが、暮らしを支援する 同時不況の影響はまだ税収に出 をする。しかしアメリカ発世界 き去りにすることなく取り組む 応援プロジェクトを担うなど新 がい者就労支援や東京都の生活 狛江市は生活保護の水際作戦

> 題も。子育て支援や広報にして も政策の戦略性が見受けられな 分野での働きが期待されたが課 会など職員が組織すべき。 提案する意識を持って働くよう、 場からの声を自治体政策研究 今後は自治体から国へ政策

財産賃貸の不透明さも見逃せな 環境政策のおくれも問題。普通 決算は認定することができない。 ざりでお粗末な経緯と結果に本 やっつけ仕事、市民参加もなお 策定や女性政策など時間不足の コミュニティバス、中学校給 基本構想策定など各種計画

不認定 市長は猛省を 大目玉」を食らった 超目玉」の事業で 公 一々木 明 党 貴 史

金支出も問題がある。公明党は ス」だが、現実は福祉切り捨て を奪われた。委託業者への補助 の代物。高齢者や障がい者や車 に移行するはずだった「こまバ いす利用者は町に出かける環境 「こまバス」にかわる公共施設 これまでの福祉バスを発展的

境を整備するべき。中学校給食 障がい者、車いす利用者が安心 命が危ぶまれ「食の安全」が脅 ホチキス針が混入など生徒の生 は異物混入事件が後を絶たず、 して乗降でき、町に出られる環 無料循環バスを提案、高齢者や かされている。異物混入が関係